

令和6年度第3海兵機動展開部隊との共同訓練 (アイアン・フィスト25)について

令和7年1月
防衛省

令和6年度第3海兵機動展開部隊との共同訓練 (アイアン・フィスト25) について

【演習の目的】

陸上自衛隊と日本に駐留する米海兵隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、共同対処能力の向上を図ることを目的としております。

【演習の沿革】

- 本演習は、平成17年度から令和3年度までの間、米国キャンプ・ペンドルトンで米第1海兵機動展開部隊との共同訓練として実施されてきました。
- 令和4年度から、日本国内において米第3海兵機動展開部隊と訓練を実施しています。

【演習の実施場所及び期間】

(※) 本期間の前後に、それぞれ約1週間で準備・撤収を実施します。

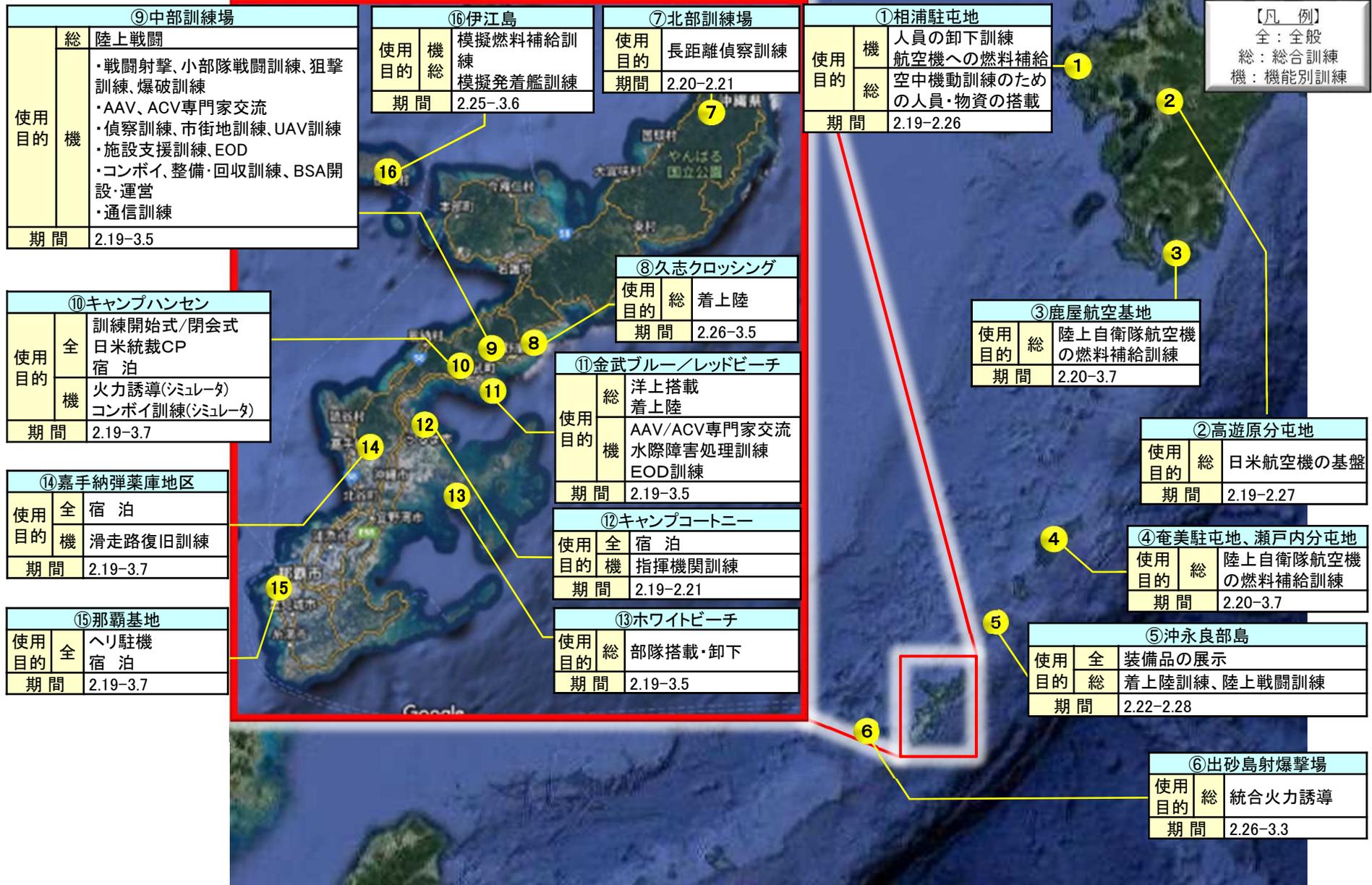
令和7年2月19日(水)～3月7日(金)までの間、長崎県、熊本県、鹿児島県及び沖縄県の下記の場所及び期間における訓練の実施を計画しています。

- 長崎県：2月19日(水)～2月26日(水) 相浦駐屯地
- 熊本県：2月19日(水)～2月27日(木) 高遊原分屯地
- 鹿児島県：2月20日(木)～3月7日(金) 鹿屋航空基地
2月22日(土)～2月28日(金) 沖永良部島
2月20日(木)～3月7日(金) 奄美駐屯地、瀬戸内分屯地
- 沖縄県：2月20日(木)～2月21日(金) 北部訓練場
2月19日(水)～2月24日(月)、2月25日(火)～3月5日(水)
キャンプ・ハンセン、中部訓練場、金武ブルー・ビーチ訓練場、
金武レッド・ビーチ訓練場、久志クロッシング、ホワイトビーチ
2月19日(水)～2月21日(金) キャンプ・コートニー
2月26日(水)～3月3日(月) 出砂島射爆撃場
2月25日(火)～3月6日(木) 伊江島補助飛行場
2月20日(木)～2月28日(金) 嘉手納弾薬庫地区
2月24日(月)～3月7日(金) 那覇基地

【演習の内容】

- 日米共同での指揮機関訓練【キャンプ・コートニー】
- 航空機を用いた日米共同での統合火力誘導訓練【出砂島射爆撃場】
- 日米共同飛行【九州内】
- 着上陸訓練
 - ・ 海上機動（偵察用ボート、水陸両用車（AAV）、ホバークラフト（LCAC）及び輸送艦・揚陸艦）による日米共同での着上陸訓練【沖永良部島、金武ブルー・ビーチ訓練場及びキャンプ・ハンセン（久志クロッシング）】
 - ・ 空中機動による日米共同での着上陸訓練【相浦駐屯地、沖永良部島、キャンプ・ハンセン及び金武ブルー・ビーチ訓練場】
- 着上陸した部隊による日米共同での陸上戦闘訓練【沖永良部島、キャンプ・ハンセン】
- 小火器を用いた日米共同での実弾射撃訓練【キャンプ・ハンセン】
- 日米共同での兵站・衛生訓練及び水際障害処理訓練【金武ブルー・ビーチ訓練場及び金武レッド・ビーチ訓練場】
- 森林錯雑地における長距離機動、偵察等訓練【北部訓練場】
- 陸自航空機の燃料補給訓練【鹿屋航空基地、奄美駐屯地、瀬戸内分屯地】
- 滑走路復旧訓練【嘉手納弾薬庫地区】
- 模擬発着艦訓練及び模擬燃料補給訓練【伊江島補助飛行場】

訓練予定地域



鹿屋航空基地の使用について

鹿屋航空基地において、陸上自衛隊航空機への燃料補給訓練を実施する計画です。

【期 間】令和7年2月20日（木）～3月7日（金）（左記期間の前後1週間程度をもって、準備・撤収を実施）
【使用予定航空機】陸上自衛隊 第1ヘリ団、西方航空隊： CH-47×5機程度、AH-64D×2機程度

※ 機数は、現時点で計画されているもの

使用予定場所（鹿屋航空基地）



【凡例】

● 使用予定地域

- 夜間飛行の予定は未定。
- 飛行に際しては、可能な限り住宅地の上空を避けて飛行

使用イメージ



航空機への燃料補給

奄美大島の使用について

奄美大島（奄美駐屯地、瀬戸内分屯地）において、陸上自衛隊航空機への燃料補給訓練を実施する計画です。

【期間】令和7年2月20日（木）～3月7日（金）（左記期間の前後1週間程度をもって、準備・撤収を実施）
【使用予定航空機】陸上自衛隊 第1ヘリ団、西方航空隊： CH-47×5機程度、AH-64D×2機程度

※ 機数は、現時点で計画されているもの

使用予定場所（奄美大島）



【凡例】

● 使用予定地域

- 0800～1700を基本として計画
- 飛行に際しては、可能な限り住宅地の上空を避けて飛行

使用イメージ



航空機への燃料補給



航空機による降着

沖永良部島の使用について (1 / 2)

沖永良部島及びその周辺海空域において、日米共同の着上陸訓練及び陸上戦闘訓練を実施する計画です。なお、訓練期間中に装備品の展示会を実施する計画です。

着上陸訓練及び陸上戦闘訓練

【期間】令和7年2月27日(木) (天候不良の場合、28日(金)を予備日として使用)

【参加予定部隊】自衛隊：陸上自衛隊 約100名 (水陸機動団、偵察用ボート×5艇、水陸両用車(AAV)×4両、CH-47×1機)

海上自衛隊 約200名 (第1輸送隊、輸送艦×1隻、ホバークラフト(LCAC)×2艇)
(※海上自衛隊は上陸しません)

米軍：米海兵隊 約250名 (31MEU、偵察用ボート×5艇、MV-22×2機)

米海軍 約2000名 (第11水陸両用戦隊、揚陸艦×3隻、ホバークラフト(LCAC)×1艇)
(※米海軍は上陸しません)

※事前訓練として、着陸地域の安全を確認するため、CH-47が2月25日(火)に飛行予定。(予備日：26日(水))

装備品の展示会

【期間】令和7年2月22日(土)～24日(月) (内1日を予定)

【参加予定部隊】自衛隊：陸上自衛隊 約20名 (水陸機動団、偵察用ボート)

米軍：米海兵隊 約20名 (CH-53)

※ 人数・機数は、現時点で計画されているもの

訓練予定場所

着上陸訓練の訓練イメージ



訓練イメージ



日米偵察用ボートによる着上陸訓練



日米航空機による降着



装備品の展示(ボート)



装備品の展示(ヘリ)

沖永良部島の使用について (2/2)



訓練イメージ (笠石海岸及び笠石海浜公園)



- 笠石海岸に日米の偵察用ポート各5艇ずつが上陸します。
- ポートから下船した日米の隊員は、軽火器（ゴム製）を携行し、海岸部分に展開します。（駐車場、公園部分、公道等には進入しません。）
- 上記の間、弾薬の装填及び空包の使用予定はありません。
- 訓練間、管理要員等が、海岸、駐車場、公園部分等に展開します。

訓練イメージ (大山総合グラウンド及び大山野営場)



- 大山総合グラウンドに日米航空機（日：CH-47、米：MV-22）が1機ずつ降着します。
- 航空機の降着後、軽火器を携行した陸自隊員×50名程度及び米海兵隊隊員×50名程度が、航空機から降機します。
- 降機した日米の隊員は、大山野営場に移動し、同地域において、陸上戦闘訓練を実施します。
- 上記の間、弾薬の装填及び空包の使用予定はありません。
- 大山総合グラウンドから大山野営場への移動は公道を横断します。（住民等の安全を確保するため、訓練間、安全員を配置した上で、上下線を一時的に通行止めさせていただきます。）

補足事項等

- 訓練を支援する管理要員等が期間の前後1週間程度をもって、準備・撤収を実施します。（管理要員等は、えらぶ長浜館に宿泊させていただきます。）
- 訓練間、大山総合グラウンド及び笠石海浜公園内のトイレを日米の隊員が利用させていただきます。
- 訓練は夜間まで及び可能性がありますますが、20時（調整中）までには訓練を終了する予定です。
- 飛行に際しては、可能な限り住宅地の上空を避けて飛行します。